



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和6年7月第1回市長定例記者会見

- ・日時 令和6年7月1日(月)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 「私の食品ロス削減アイデアコンテスト」を実施します(資料1)
- 2 プラスチックをコンパクトにする『たちつてと』の情報発信に取り組みます(資料2)
- 3 第41回日本のまんなか渋川へそ祭り「へそ踊りパレード」の参加団体を募集します(資料3)
- 4 伊香保温泉「石段の湯」の利用料金を改定します(資料4)
- 5 「こども誰でも通園事業」が始まりました(資料5)
- 6 北橋中学校のPTA教養講座に日本のまんなか しぶかわ応援大使の一倉宏さんが講師として参加します(資料6)

その他資料提供

- ・ 渋川駅前の新たな魅力やにぎわいを創出するイベントを行う団体を7月1日から募集します(資料7)
- ・ 令和6年度第1回渋川市総合教育会議を開催します(資料8)
- ・ 「Kirariしぶかわ」に掲載する有料広告を募集します(資料9)
- ・ 令和6年から8年の環境審議会委員を募集します(資料10)

○次回開催予定

日時：令和6年7月10日(水) 午前11時～
場所：本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
7月1日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室
	14:30	第74回“社会を明るくする運動”内閣総理大臣及び群馬県更生保護女性会員からのメッセージ伝達式	市役所本庁舎	地域包括ケア課
7月2日(火)	10:00	市民の健康と暮らしに関する懇談	市役所本庁舎	保険年金課
	12:20	学校給食ハワイメニュー試食	三原田小学校	教育総務課
	14:00	渋川市青少年問題協議会	市役所第二庁舎	生涯学習課
7月3日(水)	9:30	長寿者顕彰	市内	高齢者安心課
	13:30	上小室自治会・下小室自治会より要望書の提出	市役所本庁舎	土木管理課
7月4日(木)	8:00	群馬県知事との朝食会	群馬会館食堂	秘書室
	14:00	第46回少年の主張 渋川市大会	金島ふれあいセンター	生涯学習課
7月5日(金)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:30	渋川へそ祭り実行委員会総会	金島ふれあいセンター	観光課
7月6日(土)				
7月7日(日)				
7月8日(月)	13:30	議員全員協議会	市役所本庁舎	議会事務局

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
7月8日(月)	13:30	議員全員協議会	市役所本庁舎	議会事務局
7月9日(火)	10:00	広域組合7月組合議会臨時会	渋川市勤労福祉センター	広域組合
7月10日(水)	11:00 14:30	市長定例記者会見 夏の県民交通安全運動出動式	市役所本庁舎 渋川警察署	広報室 危機管理室
7月11日(木)	7:15 10:00 12:15 14:00 16:00	夏の県民交通安全運動に伴う車両広報 渋川市内部統制推進・評価会議 学校給食ハワイメニュー試食 渋川地区防犯協会定期総会 原水爆禁止2024年国民平和大行進	渋川地区(北) 市役所本庁舎 豊秋小学校 渋川警察署 市役所第二庁舎	危機管理室 総務課 教育総務課 危機管理室 市民協働推進課
7月12日(金)	7:30 12:20 15:00 15:30	夏の県民交通安全運動に伴う車両広報 学校給食ハワイメニュー試食 群馬県屋外広告美術業協同組合関東地区連第65回定時総会 庁議	伊香保地区 中郷小学校 ホテル木暮 市役所本庁舎	危機管理室 教育総務課 都市政策課 政策戦略課
7月13日(土)	9:00 18:30	令和6年度しぶかわバレーボールフェスティバル兼第12回関東ヴァンテージ8's バレーボール交流大会開会式 令和6年度隊友会渋川支部総会及び懇親会	子持社会体育館 ホワイトパーク	スポーツ課 危機管理室
7月14日(日)				
7月15日(月)				
7月16日(火)	7:15 10:00 13:00 16:00	夏の県民交通安全運動に伴う車両広報 渋川商工会議所女性会座談会 市長定例記者会見 夏の県民交通安全運動に係る一斉街頭指導	赤城地区 越中屋 市役所本庁舎 市民会館広場ほか	危機管理室 産業政策課 広報室 危機管理室

「私の食品ロス削減アイデアコンテスト」を実施します

渋川市は、新たな食品ロス削減に向けた取り組みとして、食品ロスの削減を「他人事」ではなく「自分事」として捉え、行動変容につなげることを目的として、『私の食品ロス削減アイデアコンテスト』を実施します。

1 概 要

渋川市は、食品ロスの削減を推進するため、令和3年4月から「渋川市もったいないの心を持って食品ロスの削減を推進する条例」を施行しました。また、令和5年には、「渋川市食品ロス削減推進計画」を策定しています。

令和6年度は、「食品ロスを削減するために、私ができること」をテーマに、食品ロス削減のための取組事例と食品ロス削減料理レシピのアイデアを募集するコンテストを実施します。実践内容やレシピを広く周知することで、自分にできることを考えてもらうきっかけにするとともに、市民に食品ロスの削減を「他人事」ではなく「自分事」として捉えてもらい、食品ロス削減に向けた行動変容につなげることを目的として実施するものです。

2 募集部門 取組部門と料理部門の2部門

3 応募資格 市内在住、在学または在勤の人

4 応募条件

- (1) 応募者本人が取り組んだり、実際に調理した料理であり、未発表で他のコンテストなどに応募していないもの
- (2) 応募者以外の被写体（人物、美術品、商標、建築物など）について、当該人や権利者の承諾を得ていること
- (3) 特定の企業名や商品名を出していないこと
- (4) 応募は一人1部門まで（複数応募可）

※他にも応募条件があります
詳しくは、市ホームページ
を確認してください



◀市ホームページはこちら

5 賞

- (1) 取組部門 最優秀賞1点（渋Pay10,000ポイント）
優秀賞4点以内（渋Pay2,500ポイント）
- (2) 料理部門 最優秀賞1点（渋Pay10,000ポイント）
優秀賞4点以内（渋Pay2,500ポイント）

6 応募書類

- (1) 取組部門 指定の応募申込書及び応募様式（取り組みの様子が分かる写真を添付）
- (2) 料理部門 指定の応募申込書、応募様式（取り組みが分かる料理の写真を添付）及びレシピ

※指定の応募申込書及び応募様式は、環境森林課または市ホームページにあります

7 提出方法

応募書類を、メール（kankyou@city.shibukawa.gunma.jp）、郵送（〒377-8501・渋川市石原80）または直接持参で環境森林課へ。

8 募集期間 令和6年7月12日（金）～9月13日（金）（必着）

9 入賞作品の発表・活用

- (1) 入賞者及び作品は、令和6年10月以降に市ホームページで発表します
- (2) 入賞作品は、市ホームページへの掲載など、渋川市の食品ロス削減推進の取り組みに活用する予定です

10 周知方法

広報しぶかわ（7月1日号）、市ホームページ、市公式LINE・X(旧 ツイッター)、市内各小・中・高等学校などで周知します。

11 審査方法

環境森林課が指名する審査員及び渋川市食品ロス削減協議会委員により審査します。

12 他市の取組状況

食品ロス削減に向けたアイデアコンテストの実施は、県内12市で初となります。

■問い合わせ先

市民環境部 部長 田中 良（内線1100）

担当：環境森林課（電話0279-22-2114）

課長 入澤 仁（内線1140）

環境政策係長 小林 哲彦（内線1146）

あなたのアイデア募集します

賞あり

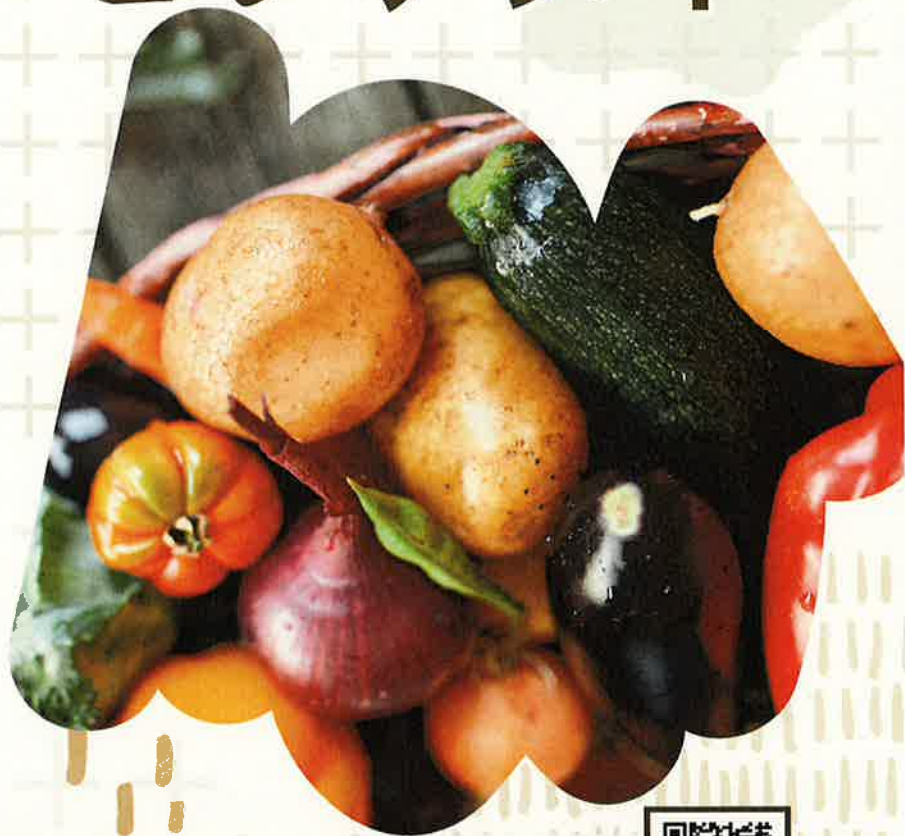
取組部門

料理部門

私の食品ロス削減 アイデアコンテスト

応募期間

2024. 7. 12から9. 13まで



詳細は渋川市公式ホームページをご覧ください



問合せ先

渋川市市民環境部環境森林課
〒377-8501
渋川市石原80番地
電話 0279-22-2114
メール
kankyou@city.shibukawa.gunma.jp

概要

応募資格：渋川市内在住、在勤、在学の者
参加費：無料
応募方法：問合せ先にメール、郵送、環境森林課窓口のいずれかの
方法で必要書類をご提出下さい

たくさんのご応募お待ちしております

主催：渋川市

資料2

プラスチックをコンパクトにする『たちつてと』の情報発信に取り組みます

渋川市は、令和6年4月からプラスチックの分別収集を開始しました。
分別収集の開始後に顕在化した分別収集の課題を踏まえ、プラスチックをコンパクトにする工夫の情報発信に取り組むことで、より多くのプラスチックのリサイクルの推進を図ります。

1 概要

渋川市は、プラスチック専用の指定ごみ袋を使用して、月2回の指定日に集積所へ排出されたものを分別収集しています。しかし、プラスチックのごみは、かさばりやすく場所をとってしまうことから、「指定ごみ袋がすぐに一杯になってしまい、月2回の収集では足りないのではないか」という課題が浮かび上がりました。また、プラスチックを入れた指定ごみ袋は軽く、風で集積所から飛んでしまう可能性があるという課題もあります。

そこで、渋川市は、プラスチックをコンパクトにして、月2回の収集までになるべく多くのプラスチックを指定ごみ袋に入れ、重量のある状態にしてから出すことで、指定ごみ袋のかさを減らし、集積所からの飛散防止の対策を講じることを目的として、プラスチックをコンパクトにする工夫の情報発信に取り組みます。

2 情報発信の内容

『たちつてと』の5つの文字をキーワードに、プラスチックをコンパクトにする工夫について情報発信します。

(1) 『た』＝たたむ

プラスチック製の袋やビニールは、折りたたむことで膨らまなくなります。



(2) 『ち』＝小さくする

プラスチック製の容器とふたなど、分離できるものを外して、重ねることで小さくなります。



(3) 『つ』 = つぶす

柔らかいプラスチックは、つぶすことでコンパクトになります。



(4) 『て』 = 店頭回収を利用する

食品トレーなどで、購入したお店に回収ボックスが設置されている場合は、店頭回収を利用してもらう。

(5) 『と』 = とにかく切る

パックの角の部分などをハサミで切ると、指定ごみ袋に入りやすくなります。



3 情報発信の方法

広報しぶかわ7月1日号及び市ホームページに掲載するほか、市公式LINEによる情報発信を予定しています。

また、「しぶかわ出前講座」の制度を活用し、申し込みのあった自治会や地域の団体などに随時、説明を行います。

参考

1 渋川市のプラスチック分別収集量の現状

事前に行った分別試験の結果から、1年間のプラスチックの分別収集量を約630トン（ひと月当たりの平均は52.5トン）と推計していましたが、開始した当初の4月分の分別収集量は16.6トン、5月分の分別収集量は28.6トンとなりました。

4月から5月にかけて12トン増加していますが、推計値よりも少ない現状であることから、プラスチックをコンパクトにする情報発信に取り組むことで、より多くのプラスチックのリサイクルの推進を図ります。

2 一般廃棄物処理事業実態調査結果（県内12市の令和4年度実績）

○1人1日当たりのごみ排出量

前橋市	915 g
高崎市	925 g
館林市	930 g
伊勢崎市	933 g
太田市	964 g
安中市	987 g
みどり市	995 g
富岡市	999 g
桐生市	1,030 g
沼田市	1,045 g
渋川市	1,137 g
藤岡市	1,182 g

○リサイクル率

藤岡市	19.1%
館林市	18.6%
前橋市	18.4%
太田市	16.3%
沼田市	16.1%
富岡市	14.9%
桐生市	11.4%
高崎市	10.9%
安中市	10.0%
伊勢崎市	10.0%
渋川市	9.0%
みどり市	6.0%

■問い合わせ先

市民環境部 部長 田中 良（内線1100）

担当：環境森林課（電話0279-22-2114）

課長 入澤 仁（内線1140）

生活環境係長 高橋 昭仁（内線1141）

資料3

第41回日本のまんなか渋川へそ祭り 「へそ踊りパレード」の参加団体を募集します

第41回日本のまんなか渋川へそ祭りは、熱中症対策のため、例年の7月下旬から、9月7日（土）に日程を変更して開催します。

メインイベントの「へそ踊りパレード」に参加して、「渋川へそ祭り」を盛り上げていただく団体を募集します。

1 目 的

「日本のまんなか渋川へそ祭り」は、お腹に絵を描いて踊るユニークなお祭りとして各種メディアでも紹介されており、今年で41回目を迎えます。

このお祭りを盛り上げるため、メインイベントである「へそ踊りパレード」の参加団体を広く募集します。

2 日 時 令和6年9月7日（土） 午後6時～午後8時（予定・雨天中止）
※渋川へそ祭りの開催時間は、午後1時～午後9時（予定）

3 会 場 新町五差路周辺

4 募集内容

次の3種類の踊りでパレードに参加いただく団体を募集します。踊りごとに優秀踊り団体を表彰する「踊りコンテスト」を実施する予定です。

（1）はら踊り

お腹に顔の絵を描いて、ステップしながら行進する踊りです。踊りに必要な笠や手型などは貸し出しますが、法被など各自で準備していただくものもあります。

（2）浴衣踊り

浴衣を着用し、おそろいの振り付けで踊りながら行進します。

（3）自由踊り

衣装も振り付けも自由に踊りながら行進します。

5 募集期間 令和6年7月1日（月）～26日（金）

6 参加申込

参加申込書による事前申込みが必要です。

参加申込書は、渋川商工会議所、観光課、各行政センター、各公民館に設置します。また、市ホームページからも入手可能です。必要事項を記入のうえ、募集期間内に、渋川へそ祭り実行委員会事務局（渋川商工会議所内）へ提出してください。

参考

洪川へそ祭り過去の開催日及び参加者数

・第1回	(昭和59年度)	: 7月23日、24日開催	参加者数1,500人	観客数不明
・第2回	(昭和60年度)	: 7月22日、23日開催	参加者数2,786人	観客数不明
・第3回	(昭和61年度)	: 7月21日、22日開催	参加者数不明	観客数不明
・第4回	(昭和62年度)	: 7月22日、23日開催	参加者数2,990人	観客数不明
・第5回	(昭和63年度)	: 7月25日、26日開催	参加者数3,020人	観客数不明
・第6回	(平成元年度)	: 7月23日、24日開催	参加者数2,600人	観客数不明
・第7回	(平成2年度)	: 7月22日、23日開催	参加者数不明	観客数不明
・第8回	(平成3年度)	: 7月21日、22日開催	参加者数不明	観客数不明
・第9回	(平成4年度)	: 7月27日、28日開催	参加者数3,000人	観客数150,000人
・第10回	(平成5年度)	: 7月25日、26日開催	参加者数2,546人	観客数不明
・第11回	(平成6年度)	: 7月25日、26日開催	参加者数2,350人	観客数不明
・第12回	(平成7年度)	: 7月25日、26日開催	参加者数1,681人	観客数不明
・第13回	(平成8年度)	: 7月25日、26日開催	参加者数1,680人	観客数不明
・第14回	(平成9年度)	: 7月25日、26日開催	参加者数1,741人	観客数不明
・第15回	(平成10年度)	: 7月24日、25日開催	参加者数1,536人	観客数不明
・第16回	(平成11年度)	: 7月23日、24日開催	参加者数1,670人	観客数不明
・第17回	(平成12年度)	: 7月21日、22日開催	参加者数1,548人	観客数65,000人
・第18回	(平成13年度)	: 7月27日、28日開催	参加者数1,593人	観客数65,000人
・第19回	(平成14年度)	: 7月26日、27日開催	参加者数1,514人	観客数75,000人
・第20回	(平成15年度)	: 7月25日、26日開催	参加者数1,181人	観客数60,000人
・第21回	(平成16年度)	: 7月23日、24日開催	参加者数1,360人	観客数70,000人
・第22回	(平成17年度)	: 7月22日、23日開催	参加者数1,308人	観客数75,000人
・第23回	(平成18年度)	: 7月21日、22日開催	参加者数1,283人	観客数70,000人
・第24回	(平成19年度)	: 7月27日、28日開催	参加者数1,298人	観客数75,000人
・第25回	(平成20年度)	: 7月25日、26日開催	参加者数1,285人	観客数70,000人
・第26回	(平成21年度)	: 7月24日、25日開催	参加者数1,308人	観客数75,000人
・第27回	(平成22年度)	: 7月23日、24日開催	参加者数1,407人	観客数70,000人
・第28回	(平成23年度)	: 7月23日開催	参加者数900人	観客数50,000人
・第29回	(平成24年度)	: 7月28日開催	参加者数938人	観客数50,000人
・第30回	(平成25年度)	: 7月27日開催	参加者数864人	観客数45,000人
・第31回	(平成26年度)	: 7月26日開催	参加者数760人	観客数52,000人
・第32回	(平成27年度)	: 7月25日開催	参加者数863人	観客数60,000人
・第33回	(平成28年度)	: 7月23日開催	参加者数751人	観客数70,000人
・第34回	(平成29年度)	: 7月22日開催	参加者数822人	観客数75,000人
・第35回	(平成30年度)	: 7月21日開催	参加者数690人	観客数70,000人
・第36回	(令和元年度)	: 7月27日開催	参加者数690人	観客数76,000人
・第37回	(令和2年度)	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
・第38回	(令和3年度)	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
・第39回	(令和4年度)	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
・第40回	(令和5年度)	: 7月29日開催	参加者数406人	観客数75,000人

■問い合わせ先

産業観光部 部長 金井 裕昭 (内線4899)

担当: 観光課 (電話0279-22-2873)

課長 西脇 正悟 (内線4880)

観光振興係長 石坂 崇 (内線4881)

伊香保温泉浴場「石段の湯」の料金体系を見直します

伊香保温泉浴場「石段の湯」は、昨今の社会情勢や経済事情による物価の高騰や燃料費単価の高止まりを背景に、厳しい施設運営が続いています。そこで、7月10日(水)から、料金体系の見直しを行います。

1 概 要

伊香保温泉浴場「石段の湯」の料金体系は、これまで、平成26年4月の消費税率が5%から8%になった際に見直しを行って以降、改定を行っていませんでした。

しかし、昨今の物価や燃料費単価の高騰、また人件費の上昇等により、施設運営は厳しい状況が続いており、施設単体の収支では赤字の状態（令和5年度は約2,300万円の赤字）となっていました。

そこで、このような状況から改善を図るため、群馬県の一般公衆浴場入浴料金統制額の改定や周辺類似施設等の価格設定等を参考に、新たな料金体系を導入します。

2 改定内容

- (1) 市内利用と市外利用の金額設定
- (2) 小人と障害者・高齢者料金の統一
- (3) 回数券の廃止

3 新旧料金表

改定前	改定後
大人＝410円	市外大人＝800円
	市内大人＝500円
小人＝200円 障害者・市内高齢者＝100円	市外小人、障害者、高齢者＝400円 市内小人、障害者、高齢者＝250円
回数券／大人＝3,100円 小人＝1,500円	廃止

※大人＝中学生以上、小人＝小学生、未就学児＝無料

4 料金改定日 令和6年7月10日(水)

5 その他

料金改定に先駆けて、4月1日から営業時間を見直しました。

営業開始時間を1時間繰り上げ、終了時間1時間繰り下げること、運営の効率化を図ります。

- ・変更前：午前9時～午後9時（冬期は午前9時～午後8時30分）
- ・変更後：午前10時～午後8時（通年）

■問い合わせ先

産業観光部 部長 金井 裕昭（内線4899）

担当：観光課（電話0279-22-2873）

課長 西脇 正悟（内線4880）

観光施設係長 荒木 信彦（内線4887）

「こども誰でも通園事業」が始まりました

令和6年7月1日から渋川幼稚園において、保護者の就労要件を問わない「こども誰でも通園事業」が始まりました。事業の開始に当たって、多くの利用登録があり、7月中の予約枠は全て埋まっている状況です。今後は、この先の事業実施に向けて、しっかり検証を行います。

1 事業の経緯

国は、全ての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な生育環境を整備することを目指すとして、「こども誰でも通園制度」の本格実施を見据えた試行的事業を実施するため、令和5年度補正予算（第1号）の成立を経て、全国の自治体に対し、試行的事業の公募要領を令和5年12月7日に示しました。

渋川市は、この事業に応募し、令和5年12月28日付けで事業採択（全国106自治体）を受けました。（令和6年4月26日現在、全国で115自治体が事業採択を受けています）

事業の開始に当たり、令和6年5月1日から利用登録を開始し、これまでに多くの利用登録をいただいています。

2 利用の状況

（1）登録者数 27人（1歳未満児11人、1歳児13人、2歳児3人）

（2）予約状況

13日（7月中の実施日）×6人（1日当たりの利用定員）＝78枠

令和6年6月26日時点で、78枠の全てが予約済み

※78枠の内訳〔1歳未満児：23枠、1歳児及び2歳児：55枠〕

※「広報しぶかわ」令和6年5月1日号で周知を図りました。5月上旬の登録者は少い状況でしたが、子育て支援総合センター、こあらクラブ及び保健センターでの検診時に周知を図ったことにより、登録者が増加しました。

3 今後の展開

（1）令和6年度は、試行的事業（国庫補助事業）として実施します。

利用者へのアンケートなどにより分析した上で、しっかり検証を行います。

7月の利用に当たっては、予約枠が埋まってしまったことにより、予約できない登録者がいる可能性があるため、今後は、未利用者の利用を優先するなど、予約の方法を工夫した上で、より多くの利用者に利用していただく予定です。

（2）令和7年度は、法律に定められている地域子ども・子育て支援事業として制度化された事業として実施します。（国は、実施自治体の拡充する予定）

（3）令和8年度は、子ども・子育て支援法に基づく法定給付として実施します。

4 事業の内容

(1) 対象児童

次の全てに該当する児童

- ① 渋川市に住民登録していること
- ② 幼稚園、保育所、認定こども園などに在籍していないこと
- ③ 0歳6カ月から満3歳未満であること

(2) 利用可能時間

- ① 午前9時～正午
- ② 1時間単位で利用可能
- ③ 児童一人当たり月10時間まで

(3) 利用可能日 月・水・金曜日（祝日・年末年始・県民の日などを除く）

(4) 実施施設 渋川幼稚園

(5) 定 員 1日当たり6人（満1歳未満は3人まで）

(6) 職員配置 専任の保育士3人

(7) 利用料 無料

5 利用までの流れ

- ① 渋川幼稚園へ利用相談（令和6年5月1日から）
- ② 利用申込書の提出
- ③ 市から利用承諾通知書の送付
- ④ 渋川幼稚園へ利用日の予約（来園または電話）
- ⑤ 利用開始（令和6年7月1日から）

6 予算額 747万8,000円（財源内訳：国4分の3、市4分の1）

7 その他

こども誰でも通園制度を県内で実施するのは、前橋市、高崎市と渋川市の3市となっています。

■問い合わせ先

育都推進部 部長 角田 義孝（内線1150）

担当：こども支援課（電話0279-22-2415）

課長 野中 文子（内線1201）

保育幼稚園係長 田子 純一（内線1244）

北橘中学校のPTA教養講座に 日本のまんなか しぶかわ応援大使の一倉宏さんが 講師として参加します

渋川市のブランド力の向上及びイメージアップを図ることを目的として設置する「日本のまんなか しぶかわ応援大使」の一倉宏さんが、市内北橘中学校の行事に講師として参加し、コピーライターと大学講師の経験から講演を行います。

1 概 要

渋川市立北橘中学校で、郷土愛の育成を目的に開催する「北橘中学校PTA教養講座」に、日本のまんなか しぶかわ応援大使の一倉宏さんが講師として参加します。

講座では、一倉さんが「広告制作と大学教育」というテーマで、コピーライターと大学講師の経験から講演を行います。

2 日 時 令和6年7月5日(金) 午後1時20分～3時10分

3 会 場 渋川市立北橘中学校体育館（渋川市北橘町真壁46番地）

4 内 容

- (1) 開会のことば
- (2) 学校長あいさつ
- (3) 講演「広告制作と大学教育」一倉宏さん
- (4) お礼のことば
- (5) 閉会のことば

5 大使プロフィール

一倉宏さん（コピーライター）

渋川市出身で、筑波大学卒業後、サントリー宣伝部にコピーライターとして勤務。後に独立し事務所を設立。

代表作には、「あなたと、コンビに。」（ファミリーマート）や「まだ、ここいない、出会い」（リクルート）、「家に帰れば、積水ハウス」（積水ハウス）などがあります。

現在、筑波大学と多摩美術大学で非常勤講師を務めています。

令和4年7月1日に、日本のまんなか しぶかわ応援大使に就任し、現在3期目の活動をいただく中で、今回の事業にご協力いただく運びとなりました。



6 その他

- (1) 当日は、全校生徒218人（1年生76人、2年生72人、3年生70人）及び教職員、保護者の約240人が参加予定です。
- (2) 当該行事は、郷土愛の育成を目的に、地元(渋川市)の人材等を講師に招き実施するものです。昨年度は、日本のまんなか しぶかわ応援大使の心奏（らら）さん（バイオリニスト・歌手）を講師に開催しました。

■問い合わせ先

＜日本のまんなか しぶかわ応援大使について＞

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：広報室（電話0279-22-2182）

室長 熊迫 徳三（内線2419）

シティブランド発信係長 小杉 早苗（内線2416）

＜学校行事について（取材申し込みなど）＞

渋川市立北橘中学校（電話0279-52-2400）

担当：教頭 竹渕 和秀

渋川駅前の新たな魅力やにぎわいを創出するイベントを行う 団体を7月1日から募集します（第2期）

渋川市は、渋川駅前の活性化及び魅力向上を目的として、駅前の新たな魅力やにぎわいを創出するための各種イベントを開催し、その効果検証を行う団体への補助事業を行っています。今回、第2期（令和6年9月～12月）開催分の募集を、7月1日（月）から開始します。

1 概 要

渋川市は、令和3年11月に「渋川駅周辺再生構想」を策定し、「まとまりとにぎわいが一体となった“ほっと”な渋川駅前」を目指して、渋川駅前にイベントなどに活用できる自由広場の整備などを進めています。

こうしたハード面での整備とともに、渋川駅を鉄道利用者だけでなく、多くの人が集まり、にぎわう場所にするため、渋川駅前広場で試験的にイベントなどを行い、事業効果を検証する団体を募集し、審査の結果、決定したイベントの実施団体に対して補助金を交付しています。

この補助事業の第2期（令和6年9月～12月開催分）の募集を開始します。

2 募集期間 令和6年7月1日（月）～8月20日（火）（午後5時必着）

3 補助対象事業

計画時において、多数の集客が見込まれるイベントであって、渋川駅前の新たな魅力やにぎわいを創出するとともに、その事業効果の検証を行うもの。

ただし、「参加者を特定の要件で限定するもの」等は除く。

4 補助金額 限度額30万円（補助率は10分の10）

5 補助対象者

補助対象事業を実施する団体（法人格の有無を問わず、学生や市民等で構成された団体、グループ等を含む）であり、「構成員が3人以上である」等の条件に該当する者としてします。

6 補助対象経費

補助対象事業に要する経費。ただし、次に掲げる経費を除く。

ア 交際費（慶弔費を含む）

イ 団体の構成員の飲食に要する経費

ウ 備品購入費

エ 証拠書類により補助対象者が支払ったことを確認することができない経費

オ その他補助対象事業に要する経費として市長が不適当と認めた経費

7 募集期間

- (1) 第1期（令和6年6月～8月開催分） **終了**
＝令和6年5月1日（水）～5月24日（金）午後5時必着
- (2) 第2期（令和6年9月～12月開催分） **募集中**
＝令和6年7月1日（月）～8月20日（火）午後5時必着
- (3) 第3期（令和7年1月～3月開催分）
＝令和6年11月1日（金）～12月20日（金）午後5時必着

8 予算額 240万円（限度額30万円×8件分）

9 応募方法

募集要項を確認の上、応募申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて、電子メール又は書面で政策戦略課へ

※募集要項及び応募申請書は、市ホームページにあります

10 選定方法

庁内に設置する選定委員会で、提出された事業計画書等の審査を行い、実施候補団体を選定します。

参考

第1期の実績

第1期として、令和6年6月～8月の間に実施するイベントを5月1日から24日まで募集し、審査の結果、以下のとおりイベントを実施する予定です。

- (1) イベント名 日本のもんなかへそのまち 渋谷UKIUKILive♪
- (2) 日 時 令和6年7月21日（日） 正午～午後6時
- (3) 場 所 渋谷駅前広場
- (4) 内 容

バンド演奏やダンスパフォーマンス、ウクレレやフラダンス体験、飲食店や物販店の出店を予定しています。また、伊香保ハワイアンフェスティバルの応援企画も実施します。

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-25-8419）

課長 小野 篤史（内線2420）

未来戦略係長 齋藤 大輔（内線2423）

資料8

令和6年度第1回渋川市総合教育会議を開催します

市と教育委員会の相互の連携を図り、教育行政の方向性を共有するため、7月25日(木)に令和6年度第1回渋川市総合教育会議を開催します。

1 概 要

渋川市は、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層の民意を反映した教育行政を推進するため、「渋川市総合教育会議」を設置しています。

令和6年度第1回会議の開催についてお知らせします。

2 日 時 令和6年7月25日(木) 午前10時から

3 会 場 渋川市役所本庁舎3階 大会議室

4 内 容

(1) 議題

- ・食育の推進と学校給食について
- ・渋川市の特色ある英語教育の推進について

(2) その他

- ・ヒメギフチョウの現状と保護活動について

5 出席予定者

- ・市長、教育長、教育長職務代理者、教育委員

【市関係者】

- ・副市長
- ・総合戦略部長
- ・教育部長、教育総務課長、学校教育課長、文化財保護課長

6 事務局 総合戦略部政策戦略課政策推進係

7 その他

会議は原則公開で行います。

参考

1 総合教育会議とは

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律(平成26年法律第76号)」が改正(平成27年4月1日施行)されました。

この法律の中で、地方公共団体の長と教育委員会との連携の強化を目的とした「総合教育会議」を設けることと規定されています。

2 過去の開催状況

年 度	回 数	議 題
平成31年度 (令和元年度)	第1回 (4月)	・新年度予算について ・新年度組織機構の見直しについて ・公立幼稚園・保育所の認定こども園化について ・小規模特認校について
	第2回 (10月)	・平成30年度決算概要報告 ・ふるさと渋川学生奨励金制度（案）について ・コミュニティスクールについて
令和2年度	—	—
令和3年度	第1回 (8月)	・コミュニティスクールについて ・今後の国際理解教育のあり方について ・ヤングケアラーについて
令和4年度	第1回 (6月)	・渋川市教育振興大綱策定方針（案）について ・コミュニティ・スクールについて ・小中一貫教育について
	第2回 (11月)	・第3期渋川市教育振興大綱（案）について ・ヤングケアラーについて
	第3回 (1月)	・第3期渋川市教育振興大綱（案）について ・コミュニティ・スクールについて ・公民館の今後のあり方について
令和5年度	第1回 (7月)	・渋川市が進める特色ある教育について ・市民に開かれた美術館のあり方について
	第2回 (1月)	・部活動の地域移行に係る現状と課題について ・公立幼稚園等の現状と課題について

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：政策戦略課（電話0279-25-8554）

課長 小野 篤史（内線2420）

政策推進係長 坂本 和馬（内線2422）

資料9

「Kirariしぶかわ」に掲載する有料広告を募集します

渋川の魅力や情報を広く発信するための情報誌「Kirari(キラリ)しぶかわ」第6号を発行します。

この情報誌に掲載する有料広告を募集します。

1 「Kirariしぶかわ第6号」の概要

- (1) 発行回数 年1回
- (2) 発行時期 令和6年10月上旬
- (3) 発行部数 1万5,000部
- (4) 主な内容 特集「渋川市内のロケ地巡り」、イベント情報など(予定)
- (5) 配布場所 渋川市内各公共施設・観光施設、渋川内外観光情報案内所、渋川市出身県外在住者など

2 広告の募集内容

- (1) 募集対象 企業や個人事業者、商店街などの連合体など
※申込者および掲載できる広告には要件があります
- (2) 掲載位置 「Kirariしぶかわ」全8ページの表紙を除く中面および裏表紙の一部
- (3) 広告規格 縦4.9cm×横9.1cmのカラー刷り
- (4) 募集枠数 ①中面掲載＝8枠 ②裏表紙掲載＝2枠
※いずれも先着順。1申込者につき2枠まで
- (5) 掲載料(1枠) ①中面掲載＝2万5,000円 ②裏表紙掲載＝4万円
- (6) 申込方法 「渋川市情報誌広告掲載申込書」(広報室にあります)に必要事項を記入し、広報室へ郵送(〒377-8501・渋川市石原80)または持参するか、電子申請受付システムから申し込みができます
※申請書は、市ホームページから印刷できます
- (7) 申込期限 令和6年8月30日(金)(必着)

参考

「Kirariしぶかわ」過去の特集テーマ

- ・第1号：日本のまんなか
- ・第2号：創作こけし
- ・第3号：渋川駅開業100周年
- ・第4号：アルテナード
- ・第5号：渋川パワースポット探訪

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：広報室（電話0279-22-2182）

室長 熊迫 徳三（内線2419）

シティブランド発信係長 小杉 早苗（内線2416）

令和6年から8年の環境審議会委員を募集します

環境審議会は、良好で快適な環境の保全及び創造に関する基本的事項について調査審議する市長の諮問機関です。渋川市は、環境行政の推進に当たり、市民の皆さんの意見を反映させるため、令和6年から8年の環境審議会の委員を公募します。

1 概 要

渋川市は、市民の皆さんの健康で安全かつ文化的な生活を将来にわたって確保することを目的に、良好で快適な環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進しています。今後の環境行政の推進に当たり、市民の皆さんの意見を反映させるため、渋川市環境審議会委員を公募します。

2 募集人数 4人以内

3 応募資格

次の(1)～(5)に全てに当てはまる人

- (1) 応募日現在で18歳以上である人
- (2) 渋川市内在住である人
- (3) 渋川市の環境行政に関心がある人
- (4) 渋川市議会議員、渋川市職員、ほかの審議会などの委員ではない人
- (5) 平日の昼間の会議に出席できる人

4 任 期 令和6年8月10日(土)～令和8年8月9日(日) ※2年間

5 会議回数等

- (1) 会議は年間2回程度を予定しています
- (2) 会議日1日につき6,100円を支給します
- (3) 委員の氏名や発言内容を公表することがあります

6 応募方法

申込書及び関心のある環境項目(自然環境、気候変動対策、環境保全活動など)をテーマに自分の考えなどをまとめた応募動機(400字以内・様式自由)を、郵送(〒377-8501・渋川市石原80番地・渋川市環境森林課宛)、FAX(0279-24-6541)、メール(kanky@city.shibukawa.gunma.jp)又は直接持参(環境森林課窓口)のいずれかの方法で提出してください。

※申込書類は、市ホームページ、環境森林課、各行政センター、各公民館及び図書館に設置しています

7 応募期間 令和6年7月5日(金)～24日(水) (必着)

8 選考方法

応募時に提出された「応募動機」のほか、年齢や男女の構成比を考慮して選考します。

なお、選考結果は、応募者全員に書面にて通知します。

参考

渋川市環境審議会委員（公募委員を除く）

第1号 学識経験を有する者	
1	環境カウンセラー
2	医師（渋川地区医師会）
3	群馬県環境森林部中部環境事務所長
4	環境カウンセラー
第2号 市民団体及び各種団体を代表する者	
1	渋川市環境美化推進協議会
2	渋川市自治会連合会
3	渋川市婦人会連絡協議会
4	渋川商工会議所
5	しぶかわ商工会
6	渋川青年会議所
7	四社会代表
8	北群渋川農業協同組合
9	赤城橘農業協同組合
10	渋川市小中学校PTA連絡協議会
11	NPO法人渋川広域ものづくり協議会
12	赤城姫を愛する集まり

■問い合わせ先

市民環境部 部長 田中 良（内線1100）

担当：環境森林課（電話0279-22-2114）

課長 入澤 仁（内線1140）

環境政策係長 小林 哲彦（内線1146）